宮古市教育委員会だより

郷土を誇り次代につなぐひとづくり

令和5年 1月1日号

No.22

発行

宮古市教育委員会

〒027-8501
宮古市宮町一丁目1番30号
☎ 0193－62－2111

歌で思いを届ける！

NHKのど自慢が14年ぶりに宮古市で開催されました

８月７日(日)、市民文化会館大ホールでＮＨＫのど自慢が開催されました。

地域のみなさんの元気な歌声を全国に届けるとともに、東日本大震災で被災した市民のみなさんの心の復興を願い、ＮＨＫ盛岡放送局と市が主催して実施したものです。

宮古市での開催は、昭和58年、平成20年以来今回で３回目、14年ぶりとなりました。

司会は小田切千アナウンサー、ゲストに福田こうへいさん・田川寿美さんを迎え、抽選により当選した約700名の方が観覧しました。

公開生放送の様子

チャンピオンに輝いた名取誉生さん

180組による予選を通過した市内外の18組が出演し、練習を重ねた歌声で満席の会場を盛り上げました。

宮古市の名取誉生（なとりたかき）さんが、中孝介さんの「花」を披露し、チャンピオンに輝きました。

問い合わせ　文化課（65-7526）

年頭のごあいさつ

宮古市教育委員会 教育長　**伊藤晃二**

明けましておめでとうございます。新春の候、皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、本市教育行政の運営並びに活動に対し、変わらぬご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行から間もなく３年が経過します。「新しい生活様式」とともに学校教育、社会教育等の活動様式も変化しつつあり、対応に追われてきたところです。

そのような中、昨年は、コロナ禍にあって中止や制限を余儀なくされていたイベントや活動を、感染防止対策を行いながら３年ぶりに開催することができました。

今年も基本的な感染防止対策を行いながら、教育行政を着実に進めて参ります。変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして健やかで充実した年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

宮古市教育委員会教育委員４人の紹介

宮古市教育委員会は、伊藤晃二教育長を筆頭に、４人の教育委員の方々を含めた５名で構成されています。委員の宮古の教育への思いをご紹介します。

～ 子ども達の幸福を願って ～

荒谷　榮子　委員

岩手が生んだ詩人・童話作家の宮沢賢治は、多くの詩や童話を残しました。「雨ニモマケズ」の詩は有名で、誰もが知っていると思います。童話「風の又三郎」も一度は手に取り独特の作風に魅せられた方々も多いことでしょう。

「世界がぜんたい幸福にならないうちは、個人の幸福はあり得ない。」という言葉も、宮沢賢治が残しました。幸福の礎は平和な社会であり、平和の上に幸福が成り立つと考えています。宮沢賢治が残した言葉を、今年はしっかりとかみしめたいと考えています。

令和５年がスタートしました。今年も宮古の子どもたちが幸福であることを心から願い、いつも応援してまいりたいと決意を新たにしています。

～ 細く長く生涯学習 ～

橋本　美紀　委員

「人生１００年時代」と言われる今、まわりにある小さな学びを集めて心豊かに過ごしてみてはどうでしょうか。六十の手習いという言葉があるように、いつでもやりたい事、行ってみたい場所へ足を運び、知らなかった世界を覗いてみませんか。教養を高め、趣味が深まり、自分の時間が充実することと思います。

宮古市ではその手助けとして、生涯学習課、文化課が中核となり、他課と連携を図りながら多種多様な学習体験の場を広げています。毎月一つ新しいことにトライすることを決めている私は、広報みやこの「情報掲示板」を毎回楽しみにしています。各企画に携わっている方々に感謝し、多くの方の参加や今後の更なる活躍に期待いたします。

～ 希 望 的 大 望 ～

平井　亮吉　委員

私の祖母ツヤさんが始めた青果販売を家族で営んでおります。私どもの商売の基本のおおよその流れは、品物を仕入れ、販売し、売上げ、利益を得て、再度仕入れを行う、の繰り返しです。

教育委員を拝命し約６年。当初、教育関連の金額を目にした際、大きな額に驚きを禁じえませんでした。しかし、私の商売とは大きく違って目先の利益ではなく、長期的人材投資の意味合いも含まれていると今は理解しています。人口減少、環境問題等、乗り越えるべき課題は山積みですが、解決の糸口は教育だと思っています。子どもだけではなく、我々大人も学びを重ね、心豊かな日々を送りましょう。世界平和を切に希求して、良い年であらん事を願います。

～ 忘れかけた日常への第一歩 ～

杉本　裕樹　委員

近年におきましては、新型コロナウイルスにより学校での環境変化への不安は生徒も教職員も大きな影響を受けた事と思います。感染予防対策の対応や休校措置など、学校に行きにくくなるケースもあったかもしれません。子どもたちを守るために相当の神経をすり減らした教職員の皆様の大変さがひしひしと感じた場面を目にする機会が多かったように感じます。教職員の皆様と共に、長期化する影響から忘れかけた日常を取り戻す際の子どもたちの精神面や生活面などに注意を払い、笑顔あふれる楽しい学校生活が送れるよう共に頑張って参りましょう。本年も１年間よろしくお願いいたします。

問い合わせ　教育委員会事務局総務課　(68-9114)

「みやこ☀3（さん）ライズ・ミーティング」中止。各団体の発表予定内容を紹介！

宮古市「学校保健会・ＰＴＡ連合会・教育振興運動」合同大会

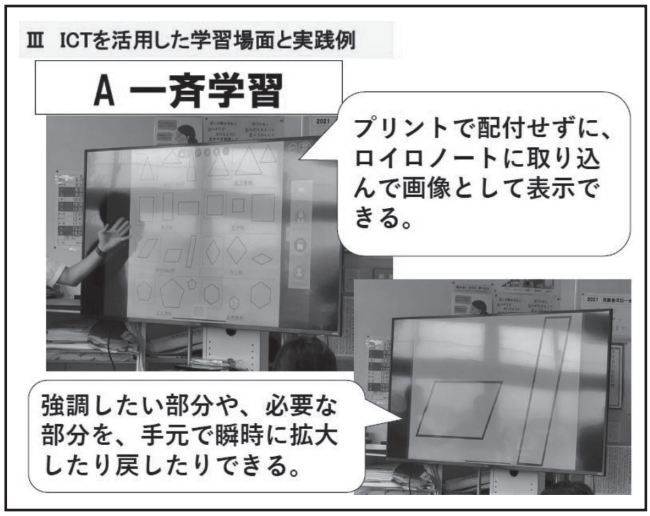
令和４年11月23日(水)、宮古市市民交流センター多目的ホールにおいて、市学校保健会、市PTA連合会、市教育委員会の３団体合同による「みやこ☀３ライズ・ミーティング」を開催予定でした。しかし、県内及び市内において多くの新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されたことから、中止となりました。

昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、教育委員会だよりでの紙面開催となりましたので、参集形式としては３年ぶりの開催予定でした。

各団体では、この日のために「ITメディアの適切な活用」をテーマに、発表やパネルディスカッションの準備を進めてまいりましたので、その内容をご紹介いたします。

教　育　委　員　会

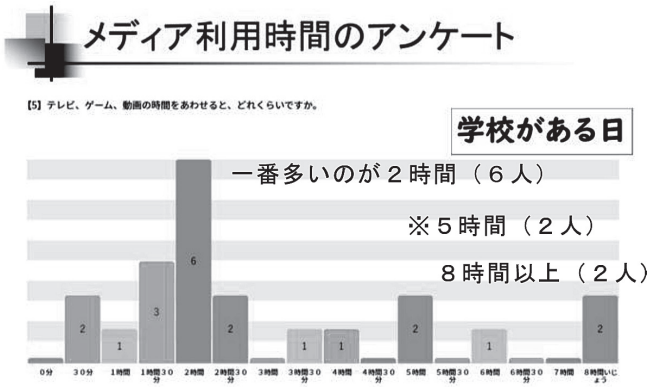
市教育委員会からは、学校教育課富山指導主事が、「宮古市内小中学校におけるICT機器を活用した子どもたちの学びについて」と題し、タブレット端末等を活用した各学校での授業改善の取組や取組による様々な成果と課題について発表する予定でした。



ICT機器を活用した授業の実践例

学　校　保　健　会

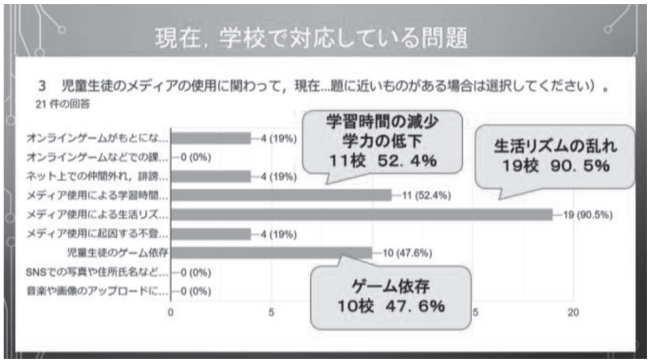
市学校保健会からは、花輪小学校水野教諭が、「見直そう！メディアの時間」と題し、適度なメディアの利用時間や時間帯、メディアが生活に及ぼす影響などについて、研究した内容を発表する予定でした。



テレビ・ゲーム等の利用時間アンケート結果

ＰＴＡ連合会

市PTA連合会からは、「インターネット時代を生き抜く子どもたちを育てるために」と題して、パネルディスカッションを行う予定でした。市内小中学生のメディア利用の現状やアンケート結果を基に、「学習時間の減少」や「生活リズムの乱れ」等にどう対応していくか意見交換が行われる予定でした。



メディアの影響アンケート結果

各団体の発表資料は、今後、各学校に情報提供してまいります。

☎ 問い合わせ　生涯学習課（68-9119）

３年ぶりの開催！崎山貝塚縄文まつり

11月３日の文化の日に３年ぶりとなる第23回崎山貝塚縄文まつりを開催しました！

開会式では崎山中学校生徒製作による顔出しパネルのお披露目や餅まきが行われ、にぎやかに縄文まつりがスタートしました。

弓矢体験や石斧体験、丸木舟縄文フィッシングなど恒例の縄文体験はもちろんのこと、ふれあい文化ボランティアによる縄文プレート作りも大盛況でした。さらに今年から崎山中学校生徒製作による「有孔鍔付土器（ゆうこうつばつきどき）」の展示を行いました。土器の焼成後は縄文太鼓として使用するとのことです。

ビッグバンドのフォローウィンズによる「縄文の森コンサート」、崎山小学校による「復興ソーラン崎山魂」の披露、お昼にはサケ汁のお振舞と盛りだくさんのイベントとなりました。

崎山小学校児童による「復興ソーラン崎山魂」

ジャズの音色が縄文の森公園に響き渡りました

問い合わせ　文化課（65-7526）

「第３回小国分館水車の畑まつり」を開催！

北上山地民俗資料館では、10月16日、小国分館を会場に３年ぶりとなる「水車の畑まつり」を開催しました。

小国分館は、市内で収集された有形民俗資料（昔の暮らしや仕事で使われた道具）の保管や、整理を行う調査事務所です。６月に開催している「神楽共演会」と、このイベントのあわせて年２回、所蔵資料や平成26年に寄贈されて移設した水車小屋をご覧いただく機会を設けています。

当日は、70人以上の方にご来場いただきました。また、資料の解説や駐車場整理には当館ボランティアの「小国分館友の会」の皆さんのご協力をいただきました。今回初めて実施した「ウォークラリー」には、15人の方が参加しました。旧校舎や体育館、そして校庭まで広い館内をめぐりながらさまざまな問題を解き、正答の方には記念品として、漁具の「浮き玉の保護網」をアレンジして作ったキーホルダーや、オリジナルシールをお渡ししました。ほかにも、小国振興舎の皆さんによる「ソバ打ち体験」や、「昔の道具で小物作り体験」など、見学のみならず伝統的な食文化や物づくりの体験も楽しんでいただくことができました。「道の駅やまびこ館」や「里の駅おぐに」からの出店もあり、大変にぎやかなイベントとなりました。

来場者からは、「昔の生活を知ることは大変よいことだと思う」「はじめて小国分館に来たが、とても勉強になり、イベントも楽しかった」という感想が寄せられました。

クルミの樹皮でミニかご作りに挑戦する参加者

問い合わせ　北上山地民俗資料館（76-2167）

第36回宮古サーモン・ハーフマラソン大会特別大会開催！

令和４年11月13日（日）、宮古運動公園陸上競技場を主会場に第36回宮古サーモン・ハーフマラソン大会特別大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策で、主会場を宮古運動公園陸上競技場に移して、３回目の特別大会となりました。

当日は、２㎞の部（ファミリー）、５㎞の部、10㎞の部、ハーフの部の４種目を行いました。北は北海道、南は大阪府から総勢1,519名のランナーが白浜の海風を浴びながら、各コースを駆け抜けました。

例年、ゲストランナーとして参加いただいている青山学院大学陸上競技部、東京を拠点にランニングトレーナーとして活躍する鳥光健仁（とりみつ たけのり）さんに加え、今年は日本体育大学陸上競技部、そしてNHK盛岡放送局の佐々木芳史アナウンサーにもご参加いただきました。

青山学院大学陸上競技部

日本体育大学陸上競技部

陸上レッスンを行う鳥光健仁さん

今年度も、スタート時の密を回避し時間差でスタートする「ウェーブスタート」を採用し、各種目を実施しました。

マラソンを楽しむ参加者

NHK盛岡放送局
佐々木芳史さん

昨年度の大会は県内の方々に限定した大会でしたが、今年度は対象者を全国に拡大し、県外のランナーも数多く参加しました。

海のすぐ近くを走る本市特有のコースを、県外の方々にも楽しんでいただきました。

ゴールした参加者

「海の景色がとてもきれいだった」「疲れたけど、気持ちよかった」「トップアスリートと走れて楽しかった」との声が聞かれるなど、参加者にとって充実した大会となりました。

問い合わせ　生涯学習課（68-9120）

令和３・４年度
宮古市教育委員会指定
学校公開研究会

宮古市では、学校教育の充実と学力の向上を図るために、各校の児童生徒及び地域の実態に基づいて研究主題を設定し、授業研究会を中心とした研究を推進してその成果の普及に努めています。

今年度は、磯鶏小学校、田老第一中学校、川井小学校の３校で、参加者を宮古管内の小・中・高等学校の先生方に限定して公開研究会を開催しました。

磯鶏小学校では、算数科の授業において、自ら課題を解決していく力を「自ら考える力」と捉え、自力解決と対話的活動を連動させた授業づくりを通して、児童が自ら考える力を身に付けることを目指して研究を推進してきました。小中連携の視点から、６年生の授業では磯鶏小学校の先生と河南中学校の先生が協力して授業を行いました。また､授業協力校として河南中学校を会場に、英語の授業を公開しました。

田老第一中学校では、全ての教科等の学習において、学んだことを既習の知識や体験、日常の行動や社会事象等と関係付ける「実生活・実社会とのつながり」を実感させる授業を通して、主体的に学ぶ生徒の育成を目指して研究を推進してきました。

川井小学校では、算数科の授業において、児童自らが学ぶ価値を見出すことができる導入、自分の考えを広げ・深める学習活動、学びと成長を自覚できる振り返りを研究の重点とし、資質・能力を育てる学習過程の工夫を通して、自分事として学ぶ子を目指して研究を推進してきました。

３校とも、これまでの研究成果を生かした授業を提案するとともに、児童生徒が意欲的に学習に取り組む姿を見せてくれました。さらに、１人１台の学習者用タブレット端末を使って、友達と意見交流をしたり自分の考えを整理したりする姿も見られました。授業後の研究会では、各学校の先生方による活発な議論も行われ、有意義な公開研究会とすることができました。

☎ 問い合わせ　学校教育課（68-9118）

11月1日(火)

磯鶏小学校学校公開研究会

【研究主題】

自ら考える力を身に付ける算数科指導のあり方

～ 自力解決と対話的活動を連動させた授業づくりを通して ～

11月8日(火)

田老第一中学校公開研究会

【研究主題】

教科の本質を追究し､主体的に学ぶ生徒の育成

～ 実生活･実社会とのつながりを実感させる授業を通して ～

11月15日(火)

川井小学校小規模･複式指導研究会

【研究主題】

自分事として学ぶ子

～ 資質･能力を育てる学習過程の工夫を通して ～

寄贈された「大相撲宮古巡業」の資料を公開

大相撲宮古巡業展

(左)板番付、(中央)弓矢、(右)軍配、免許状

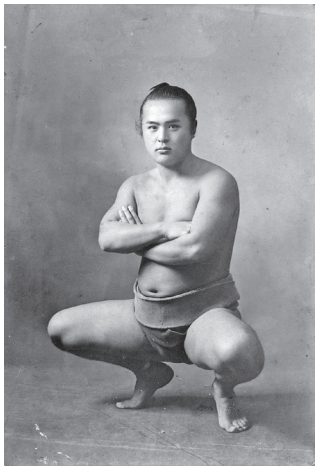
宮古出身の力士で小結までのぼりつめた宮錦(みやにしき)と、彼を相撲界に導いた地方巡業興行主ゆかりの資料が寄贈され、市民交流センターで展示公開しました（11月30日終了）。

大相撲宮古巡業の興行主を務めた梁川大吉(やながわだいきち)さんが所蔵していた資料を、ご子孫が寄贈して下さいました。大吉さんは、1894（明治27）年に一関市に生まれ、第29代横綱宮城山(みやぎやま)と子どもの頃から遊び仲間でした。宮古市内で洋服店を開業した大吉さんが宮城山との縁で、相撲興業を何度か行ったのでした。

宮古出身の力士　小結「宮錦」

宮錦は本名野澤浩(のざわひろし)、1927（昭和２）年、鍬ヶ崎に生まれ、小学生の時から身体も大きくスポーツ万能で、相撲は宮古・下閉伊郡で勝てる者はなかったと言います。野澤少年は、芝田山親方(しばたやま)（横綱宮城山）と親しかった梁川さんの目にとまり、芝田山部屋に入門し、1942（昭和17）年１月にしこ名「早池峰浩(はやちねひろし)」として初土俵を踏みました。

1946（昭和21）年１月場所に序二段で優勝を飾ります。同年８月の宮古巡業後に、しこ名を「宮錦弘(みやにしきひろし)」と改めました。宮錦の活躍は、1954（昭和29）年秋場所に西前頭五枚目で、大関栃錦(とちにしき)、横綱鏡里(かがみさと)に勝利し、８勝７敗の好成績で敢闘賞に輝き、翌年１月場所で小結に昇進しました。しこ名「早池峰」と「宮錦」に込められた、ふるさと宮古への思いがしのばれます。



宮錦：(左)早池峰の頃、(右)1960(昭和35)年頃

問い合わせ　文化課　市史編さん室(62-6447)

教育委員会議の主な議案（令和４年７月から11月まで）

「教育委員会議」とは、教育行政に関して重要な事項を審議するための会議です。

令和４年７月から11月までの間、定例会を５回開催しました。

主な議案は下記のとおりです。

- ◆宮古市立図書館協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて
- ◆令和３年度宮古市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の実施に関し議決を求めることについて
- ◆令和５年度使用教科用図書の採択に関し議決を求めることについて
- ◆宮古市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則
- ◆宮古市立図書館利用規程の一部を改正する告示
- ◆宮古市学校運営協議会の委員の解任及び任命に関し議決を求めることについて

その他、一般会計補正予算案件、人事案件などの議案12件について審議しました。

教育委員会議は、どなたでも傍聴することができます。開催日時等は、市ホームページでお知らせします。

(https://www.city.miyako.iwate.jp/index/shimin/education_meeting.html)

問い合わせ　教育委員会事務局総務課(68-9114)

科学を楽しもう！　3年ぶりに宮古・ニュートンスクール開催！

８月９日(火)宮古市教育研究所において、市内小学生を対象に３年ぶりに宮古・ニュートンスクールを開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、午前と午後あわせて７０名の小学生が参加しました。

宮古・ニュートンスクールは、子どもたちが科学分野に対する興味・関心を高め、自ら課題を見つけ解決したり、学校の授業に問題意識をもって臨んだりできることをねらいとしています。

久坂先生と大学生が丁寧に教えてくれました

当日は岩手大学教育学部准教授久坂哲也（ひささかてつや）先生を講師に、サイエンスショーや科学工作づくりを行いました。科学に親しみながら、楽しい時間を過ごす様子が見られました。

前半は液体窒素を使ったサイエンスショーを行いました。－１５０℃の液体窒素の中に植物や果物、風船を入れると、一瞬で凍っていく様子に、子どもたちは目を丸くしていました。

ストローできれいな音色を奏でました

後半はストローを使った科学工作づくりです。それぞれの音階になるようストローの長さを調整して手作りのハーモニカを作りました。子どもたちは一生懸命ストローの長さを整えながら作製していきました。完成して息を吹き込んでみると、とてもきれいな音が出て、自分で楽器が作れた喜びを感じるとともに、音の高低差の仕組みについても学んでいました。さらに、厚紙とストロー、クリップを使って、羽がない筒型の紙飛行機を作製しました。折り紙で作る紙飛行機とは違う形でしたが、羽がなくても遠くまで飛んでいく飛行機に子どもたちは驚きながらも、うれしそうに何度も飛ばしていました。

夢中になって何度も飛ばしています

参加者からは、「液体窒素を使っていろいろなものを凍らせて、それぞれ違った結果だったので面白かったです」「液体窒素の実験では、凍ったバナナでテーブルをたたいて面白かったです。不思議だなと思ったところも、すごいなと思ったこともあったので、また来年もやりたいです」「楽器やストローの工作が楽しかったので、家でも作ろうと思いました」などの感想がありました。

大学の先生から教えてもらいながら、実際に様々な体験を行うことで、科学に対する興味・関心を高める子どもたちの姿を多く見ることができました。

ニュートンスクールは来年度も開催予定です。

問い合わせ　学校教育課（68-9118）

宮古市教育委員会だより　郷土を誇り次代につなぐひとづくり　第22号　令和5年1月1日　発行　宮古市教育委員会　〒027・8501　宮古市宮町一丁目1番30号　☎0193・62・2111

VEGETABLE OIL INK　環境に配慮した植物油インクを使用しています。
UD FONT　ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。